

(19) パセリ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 立枯病 <i>Fusarium solani</i>	1. 連作を避ける。 2. 高うねにし、排水を良好にする。 3. 病株は早期に処分する。 4. 太陽熱消毒をする。 《薬剤使用の特記事項》 ● 播種前、定植前 1. 消毒方法は、Ⅲ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	－ － －	ク ロ ー ル ピ ク リ ン ク ロ ル ピ ク リ ン 錠 剤 ド ロ ク ロ ー ル
		発 生 初 期	1	ベ ン レ ー ト 水 和 剤
		発 生 初 期 た だ し 2 ～ 3 葉 期 ま で	M4	オ ー ソ サ イ ド 水 和 剤 8 0
2 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 連作を避ける。 2. 高うねにし、排水を良好にする。 3. 病株は早期に処分する。 4. 太陽熱消毒をする。 《薬剤使用の特記事項》 1. キノンドー粒剤は露地栽培のみの登録なので、施設栽培では使用しない。	播 種 前	M1	キ ノ ン ド ー 粒 剤
		発 生 初 期	31 M1 NC・M1	ス タ ー ナ 水 和 剤 Z ボ ル ド ー (混) ジ ー ファ イ ン 水 和 剤
3 うどんこ病 <i>Erysiphe heraclei</i>	1. 摘除した病葉及び収穫後の植物残さは圃場に放置せず、早めに処分する。 《薬剤使用の特記事項》 1. ストロビーフロアブルは収穫45日前までの使用とする。 2. フルピカフロアブルは収穫45日前までの使用とする。また、1回の使用とする。 3. アフェットフロアブルは短期間の連続散布はしない。	発 生 初 期	3 7 9 11 11 M2 NC NC・M1 － － －	ス コ ア 顆 粒 水 和 剤 ア フ ェ ッ ト フ ロ ア ブ ル フ ル ピ カ フ ロ ア ブ ル ア ミ ス タ ー 2 0 フ ロ ア ブ ル ス ト ロ ビ ー フ ロ ア ブ ル イ オ ウ フ ロ ア ブ ル カ リ グ リ ー ン (混) ジ ー ファ イ ン 水 和 剤 サ ン ク リ ス タ ル 乳 剤 粘 着 く ん 液 剤 エ コ ピ タ 液 剤
4 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. 多湿にしない。 2. 被害株を処分する。 3. 連作を避ける。 4. ハウス栽培に発病が多い。			
5 炭疽病 <i>Colletotrichum nymphaeae</i>	1. 多湿にしない。 2. 被害株、病茎葉を早期除去する。 3. 降雨の多い時に発生しやすい。			
6 疫病 <i>Phytophthora nicotianae</i>	1. 連作を避ける。 2. 高うねにし、排水を良好にする。 3. 病株は早期に処分する。 4. 太陽熱消毒をする。 《薬剤使用の特記事項》 1. 消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	定 植 前	－ －	ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
		発 生 初 期 (株 元 散 布)	11・4	(混) ユ ニ フ ォ ー ム 粒 剤
7 アブラムシ類	1. 飛び込み軽減のため、ハウス開口部を防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 《薬剤使用の特記事項》 1. アドマイヤー1粒剤は薬害回避のため、使用量、使用方法を厳守する。 2. ランネット45DFは、ハウスでは使用しない。 3. テルスター水和剤は収穫21日前までの使用とする。また、1回の使用とする。 4. アドマイヤーフロアブルは収穫30日前までの使用とする。また、1回の使用とする。 5. モスピラン顆粒水溶剤は収穫21日前までの使用とする。 6. 粘着くん液剤、エコピタ液剤、オレート液剤、サンクリスタル乳剤、サフオイル乳剤は虫体に直接かかるように散布する。	播 種 時 た は ま 植 定 時 育 期	4A 4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤 ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤
		発 生 初 期	3A	テ ル ス タ ー 水 和 剤
			4A	ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル
			4A	モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤
			4A	ダ ン ト ツ 水 溶 剤
			29	ウ ラ ラ D F
			－	粘 着 く ん 液 剤
			－	エ コ ピ タ 液 剤
			－	オ レ ー ト 液 剤
			－	サ ン ク リ ス タ ル 乳 剤
			－	サ フ オ イ ル 乳 剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

パセリ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
8 ハダニ類	1. 圃場周辺の雑草などの寄主植物を除去する。 2. ハウス栽培の場合にはハウス開口部にビニールによる折り返し（ダニ返し）をする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 粘着くん液剤、エコピタ液剤、サンクリスタル乳剤、サフオイル乳剤は虫体に直接かかるように散布する。	発 生 初 期 - - - -	6 - - - -	コ ロ マ イ ト 乳 剤 粘 着 く ん 液 剤 エ コ ピ タ 液 剤 サ ン ク リ ス タ ル 乳 剤 サ フ オ イ ル 乳 剤
9 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ジュリボフロアブルは育苗トレイに灌注する。 2. 老齢幼虫には薬剤の効果が劣る。	育 苗 期 後 半 ～ 定 植 当 日 発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	28・4A 6 11A 11A 11A 15 18 28	(混) ジュリボフロアブル ア フ ェ ー ム 乳 剤 ト ア ロ ー 水 和 剤 C T ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤 デ ル フ ィ ン 顆 粒 水 和 剤 カ ス ケ ー ド 乳 剤 マ ト リ ッ ク フ ロ ア ブ ル プ レ バ ソ ン フ ロ ア ブ ル 5
10 ヨトウムシ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	5 28 11A	スピノエース顆粒水和剤 プレバソンフロアブル 5 ゼンターリ顆粒水和剤
11 キアゲハ	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期	11A	ゼンターリ顆粒水和剤
12 ネキリムシ類	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 圃場や圃場周辺の除草を行う。 3. 被害株周辺土中の幼虫が潜む穴を見つけ、捕殺する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ガードベイトAは作物残留しやすいので注意する。	播種時(直播栽培) 定植時(移植栽培) 定 植 時	3A 3A	フ ォ ー ス 粒 剤 ガ ー ド ベ イ ト A
13 ネコブセンチュウ	1. 被害株の間引きを行う。 2. 輪作を行う。	播種前 または定植前 定 植 前	- - 1B	石 灰 窒 素 5 0 防 散 粒 状 石 灰 窒 素 ネ マ ト リ ン エ ー ス 粒 剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する